

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを、文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入し、PDFファイルに変換した後、ホームページに貼り付けてください。

学校名	熊本大学	個人・グループ名	江良知大	作品名	リラククスチェア
-----	------	----------	------	-----	----------

### ○制作の動機

ビーズクッションなど上に敷きながら、ゆったり座れる椅子を製作したいと考えた。

また、クッションを上に置いたとしても窮屈になってしまわないように、広めの椅子を作りたいと考えた。

さらに、長い間使ったとしても壊れずに長持ちするように、丈夫で頑丈なものを作りたいと考えた。

また、外から釘やねじなどを使った跡が見えてしまい、外観が損なわれることがないように注意した。



### ○利用方法

- ・読書をするとき
- ・ゲームをするとき
- ・高い所にあるものをとるとき



### ○工夫したポイント

- ① 座板と足組みを接合しているねじが、外側から見えなようにダボを埋め込み、接着剤で固定させ、穴から出たほぞの残りの部分をのこぎりで切り取ることで隠した。
- ② 隣り合う二つの面から開けたほぞ穴が木材内部でつながらないようにするため、ほぞ穴の深さ・大きさを考え、穴を開けた。このとき、穴が浅すぎても強度が足りないため、ギリギリのところを調整するのが難しかった。
- ③ 手すりに手を置いたとき、一番自分にしっくりくる丸みを作るため、やすりやかんなを使って、てすりの先の部分を削り、リラックスできるようにした。
- ④ 大きめのビーズクッションを置いたとしても、窮屈にならないように横幅を広めに設計し制作した

